

小学部自立活動「ゲームの時間」の取組

～集団活動を通してコミュニケーション能力の形成をめざす実践～ ふれあいの丘支援学校 小学部

<教育課程の位置づけ>

- ・よりよい人間関係の形成とコミュニケーションスキル向上をめざし、自立活動の時間として週1時間設定する。
- ・小学部児童全員で参加する時間にす。活動内容は児童の実態把握を綿密に行い、学習指導要領自立活動の内容3「人間関係の形成」と6「コミュニケーション」と当校と川西高等特別支援学校とのキャリアマトリックス「人間関係の形成」を踏まえて年間指導計画を立てる。
- ・児童個々に応じた活動ごとのねらいと手立てを明確にし、全職員が共通理解する時間をもって進める。

<ねらい> ④：十日町小学校との交流

- ・ 集団やグループでの活動を通して、身近な大人や友達とのかかわりを深める。
- ☆④ 年中行事の活動や季節の歌や遊びを体験する場を設け、見通しをもって楽しく学校生活を送られるようにする。

<具体的方策>

- ・ 児童の実態に応じた活動内容を設定する。それぞれの活動において個々のねらいを明確にする。
- ・ 個々の児童の活動の幅が広がるように内容を発展、工夫していく。
- ・ 児童同士がかかわる場面を意図的に設定する。職員や友達との態度やかかわり方を毎時間賞賛していく。
- ・ 一定期間同じ活動を行い、ルールややり方を覚えて遊びの幅をひろげる。
- ・ 活動に使用する教具や教材・物品を他教科の学習と関連させて活用し、より実践につながる学習活動を行う。

時期	単元名	単元のねらい ◎主な個別目標	各行事との関連	活動例
1学期	4.5月「新しい友達となかよくなろう」 6.7月「色々なゲームや遊びをしよう」 ☆「季節の行事を楽しもう」：七夕会	・クラスや学部の友達と楽しい時間を過ごす ・楽しい雰囲気を感じ、友達や教師と楽しむ ◎集団から離れずに一緒に活動する	・入学進級会 ・④4年生交流開始 ・④やまびこ班活動 ・④カーニバル ・七夕お楽しみ会 ・宿泊学習	○ハイタッチやスキンシップをしてかかわり合う ・じゃんけん列車・握手 ○体を動かし雰囲気を楽しむ ・ボール送り・おにごっこ ・ダンス
2学期	9.10月「ルールや順番を守って遊ぼう」 11.12月 「進んで友達をさそって遊ぼう」 ☆「季節の行事をたのしもう」：クリスマス	・ゲームにはルールや順番や勝敗があることをわかって活動する ・学校行事や季節の行事をみんなで楽しむ ◎集団遊びで、順番を待って一緒に活動する	・④フェスティバル(学習発表会) ・④ビッグフェスタ(児童会祭り) ・ハロウィーン(外国語活動) ・クリスマス会	○グループ対抗ゲームでリレーや勝敗がつく活動をし、チームで喜んだり、相手チームを讃えたりする。 ・リレーゲーム ・カード集めゲーム ・いすとりゲーム
3学期	1.2月 「できるだけ違うペアを作って遊ぼう」 ☆「季節の行事を楽しもう」：豆まき会	・覚えたゲームや遊びで、自分から進んで活動しようとする。 ・正月や冬の季節の行事や遊びを友達と体験する	・正月遊び ・雪遊び ・豆まきお楽しみ会	○今まで覚えたゲームを思い出し進んで行動する ・リレーの順番決め ・友達の応援 ・勝敗に拍手 など
3月	「なかよく過ごした1年を振り返ろう」 「卒業、進級をお祝いしよう」 ☆「季節の行事を楽しもう」：卒業お祝い会	・役割や係を決めて、思い出作りの会を計画する。 ・できるようになったことやみんなで楽しかったことを思い出す ◎自分の分担を行う。	・ひなまつり ・卒業進級お祝い会 ・④4年生交流振り返り会 ・卒業式	・楽しくゲームをして卒業する友達と思い出作りをする ・お互いの良いところ、頑張ったところをたたえ合う ・キラリ〇〇賞の授与

○成果 *課題

- 週1時間、学部全員で集う「ゲームの時間」が児童に定着し、毎週楽しみな学習時間になっている。
- 覚えたゲームやレクリエーションをしながら普段の休み時間を過ごす姿が見られ、異年齢の児童同士のかかわりと遊びの幅が広がっている。
- 児童同士のかかわりを広げる活動や手立てを講じることを職員が共通認識し、普段の指導にも役立っている。
- *それぞれの特性をもつ児童の実態を踏まえ、コミュニケーションスキルを高める個に応じたためあてや手立てを職員が共通理解してこれからも進めていきたい。